

2017年8月3日

**車載カメラ用コネクタに全自動生産ラインを導入
年間 2,000 万個生産に向けてものづくり力を強化**

本多通信工業は、伸長する車載カメラ用コネクタの“ものづくり力強化”の一環として、全自動ラインを導入します。

車載カメラは、バックビューやアラウンドビューなどの駐車アシストに加え、ADAS や自動運転の実現に向けて急速に普及しています。当社は今後の市場拡大を見据え、次の方針に基づき、ものづくり力強化に取り組んでいます。

- ・ 供給力 (Delivery) … Global 適地での増産
⇒ 生産量:16年 1,000万個 → 20年 2,000万個、BCP強化:China+1
- ・ 価格対応力 (Cost) … 生産性向上で競争力強化
⇒ 自動化/省人化 : 生産性倍化+パートナーとの協働
- ・ 品質力 (Quality) … 重要保安部品化に備えて
⇒ IATF16949 認証、グローバルでの品質モニタリング

このたび、その一環として、当社深圳工場で製造する基幹部品に、全自動ラインを導入します。本ラインは、一人あたりの生産性が倍化するだけでなく、複数品目に適用できることから、今後のカメラモジュールの世代交代にも柔軟に対応が可能です。

当社は、本年を中期計画(2015～2020年度)“GC20”の完遂に向けた「仕込みの最終年」と位置付け、本件以外にも積極的な投資を展開してまいります。

◆ 全自動ラインの概要

- 対象品目 : 車載カメラ用コネクタの基幹部品
- 設置場所 : 深圳本多通信技術有限公司
- 稼働予定 : 2018年初頭
- 投資金額 : 3.0億円 ※例年の年間投資額の1/2の規模
- 効果 : 1人あたりの生産性が2.6倍へ向上
- 特徴 : 複数品目の生産が可能

本件のお問合せ先

本多通信工業株式会社 車載用コネクタ事業部 事業企画G TEL:03-6853-6400